

その行為は、
セックス以前の
官能の中に
私を導く



dans ma peau

イン・マイ・スキン

マリナ・トゥ・ダグン 第一回監督作品 2002年 / フランス / 92分 / カラー / 1:1.85
監督・脚本・主演:マリナ・トゥ・ダグン 出演:ローラ・クリエ、カリス・トリユカール 製作:ロランス・クララン 配給:ウイニング 宣伝:兼登 監カ:ユウタカ 東京

www.uplink.co.jp



ブニュエールに匹敵する監督のデビュー。エステルという人物は、『ガーゴイル』に登場するドラキュラのマゾヒスティック・ヴァージョンである。しかし、クレール・ドゥ・ヴァン監督と比べ、マリナ・ドゥ・ヴァンは兼美に逃避することなく、独自の表現を展開している。

(LES INROCKUPTIBLES/Philippe Azoury)

まるでフリスビーのように持ち主から離れてしまった、神秘的な肉体についての作品。ある意味、クロネンバーグに影響されたファンタジー映画である。

(TELERAMA/Louis Guichard)

この映画の最も素晴らしい点は、独立した体と社会的な体が対立しているという点。そしてこの映画の内なる嫌悪感が、人間という生き物の持つ許容範囲と精神の病との間で対立しているという点にある。

LE MONDE (Jacques Mandelbaum)



イン・マイ・スキン

dans ma peau

あなたはこの衝撃を正視出来ますか？

【マリナ・ドゥ・ヴァン監督コメント】

私は8歳の時、自動車に足を轢かれました。その時は不思議とひどく取り乱したり、痛みも感じませんでした。私は自分の足をあたくも別の物体のように、ゆがんだ物として見ていて、怪我をしても“目に見えるもの”が映りませんでした。母が見せてくれたレントゲン写真によれば、骨の一部がなくて、その碎けた部分はゴミ箱に捨てられたことを聞き、結び付くための強烈で初歩的なやり方で、その苦痛を通しました。このことが私の中にある身体への風変わりな印象

をより一層深めていったのです。私の一部が破れた服のようになり、ゴミ箱に捨てられた。やがて学校でも私の傷跡は遊びの種になりました。皮膚に感覚が無くなったので友達と傷跡に針を刺して面白がっていました。自らの身体に傷をつけることは、その時その瞬間、あるいはその時の感情と傷跡に針を刺して面白がっていました。自らの身体に傷をつけて、その碎けた部分はゴミ箱に捨てられたことを聞き、結び付くための強烈で初歩的なやり方で、その苦痛を通しました。このことが私の中にある身体への風変わりな印象

フランス公開時ブニュエール、クロネンバーグと比較され、賛否両論を巻き起した問題作！

仕事も順調、恋人ともうまくいっている主人公エステル(ドゥ・ヴァン監督が自演)は、パーティー会場での足の怪我がきっかけとなり自分の皮膚に対して異常なほどの好奇心を持ち始める。自らの肉体を傷つける彼女の自傷行為は、観客の記憶の中に眠る自身の傷の痛みを呼び覚まし、インタラクティブな痛みを与えることとなる。リストカットどころかボディカットへとエスカレートしていく彼女の自傷行為を最後まで観た観客は、言葉に出来ない激しい衝撃を受けて放心状態に落ち入ること必至の問題作。

フランス・オゾン監督のクリエティヴ・パートナー、マリナ・ドゥ・ヴァン監督の長編デビュー！

監督のマリナ・ドゥ・ヴァン(1971年生まれ)は、『8人の女たち』『まぼろし』でフランソワ・オゾン監督と共に脚本を担当し、前者でオゾン監督と共にセザール賞にノミネートされた才女。一方、同じくオゾン監督の『海をみる』『ホームドラマ』では女優としてのたまたな存在感を見せつけた。フェミス(高等映画学院)で監督した5本の短編映画では、フランス映画界のみならず国際映画祭での注目を集め、本作で念願の長編監督デビューを果たしている。



2004年5月29日(Sat)より痛覚のロードショー！

5/29 (Sat) ~ 6/4 (Fri)	2:50	4:40	6:30	8:20
6/5 (Sat) ~ 6/11 (Fri)	8:50よりレイトショー			

特別鑑賞券 ¥1,400 (税込)

劇場窓口・チケットぴあ
などで好評発売中！

当日
一般……………1,700円
大学生……………1,400円
シニア……………1,000円



大塚市水戸区十三本町1-7-27サン・センタービル6F
 区役所・十三駅 西口より徒歩3分
第七藝術劇場
 06-6302-2073
<http://www.nanagei.com/>